

里山再生プロジェクトが展示発表

小海高、小海中、小海小が小海町の駅前活性化事業に参加しています。会場は、小海駅前カネトビル。

町民のコミュニティスペースとしてそれぞれの学校の展示や一般の方の写真作品が飾られています。

9月21日（土）から27日（金）までの期間、小海高校の里山再生研究成果の展示が行われました。

展示の準備は、夏休み前から花岡秀樹先生（理科教諭）と活動している2年生が主体となって進めてきました。

9月23日（月）には、展示会場で活動発表とアロマオイルの抽出実験を行いました。会場には地域の皆さん、林業・町役場関係者、報道機関、学校職員が集まり研究発表を聴きました。

7月に研修した北海道下川町のバイオマス燃料の取り組みの紹介と、小海町での里山再生の提案を行いました。また、実験では、前日採取してきたヒノキ、モミ、クロモジを材料に蒸留装置を使ってアロマオイルを抽出。芳香剤や入浴剤としての利用や石けんに混ぜてアトピーに効く（一部）など、商品化の提言もありました。参加者からは、高校生が素晴らしい研究をしている、とたいへん好評でした。また、会場には2年生の皆さんが八ヶ嶺祭で制作した貼り絵の首里城も展示されています。

近くへ行きましたら、ぜひお立ち寄りください。



里山再生の活動発表の様子



アロマオイルの抽出実験の様子



バイオマス燃料について説明する花岡先生の様子



2013.9.24 信毎に掲載されました